

1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 各学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

3 評価の観点及びその趣旨

- (1) 美術への関心・意欲・態度
美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとしている。
- (2) 発想や構想の能力
感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。
- (3) 創造的な技能
感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創造工夫して創造的に表している。
- (4) 鑑賞の能力
感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。

4 指導計画・評価計画表 表中の記号・・・【関】：美術への関心・意欲・態度 【発】：発想や構想の能力 【技】：創造的な技能 【鑑】：鑑賞の能力

月	指導計画	評価規準	評価方法
1 学 期	<p>●表現 心の思いを伝える細密表現 (3~9 時間扱い)</p> <p>○心の思いを様々な手の形を使って、周りへメッセージとしての表現を試みる。点描による細密描写を応用し、新しい世界へのメッセージを作り出す。</p>	<p>【関】：自分の思いを伝えようとしている。</p> <p>【発】：自分の思いが伝わるように独創的に構想を練る。</p> <p>【技】：点描の技法を用いて細密描写で主題が表現できるように表す。</p> <p>【鑑】：作者の思いや意図を作品から読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査

2 学 期	<p>◆鑑賞 ルネサンスの美術 (1～2時間扱い) ○レオナルド・ダ・ヴィンチを中心に『モナ・リザ』の謎やルネサンスの名品や作家について学び、今後の美術学習への意欲を高める。</p> <p>●表現 スクラッチ時計 (6～8時間扱い) ○実生活で使用する壁かけ時計をスクラッチ技法を活用し細かい表現で立体的に作り上げる。そのスクラッチ表現にあった額縁を塗装で表現する。</p> <p>●表現 絵文字 (2～7時間扱い) ○絵文字を、文字のもつ意味と視覚的な形の可能性を探究し、見る人に強い印象を与える文字をデザインする中で、感情や必要な情報を伝えるデザインの働きを学ぶ。</p>	<p>【関】：毎日の生活を豊かに彩る美術の働きに注目しようとしている</p> <p>【鑑】：表現の工夫を味わい、作者の狙いを感じ取っている。</p> <p>【関】：西洋の美術や伝統と文化に対する理解を深めようとしている</p> <p>【関】：毎日の生活を豊かに彩る美術の働きに注目しようとしている</p> <p>【関】：意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【発】：用度の美を考え、独創的に自由にイメージを広げている。</p> <p>【技】：表現の意図にあった技法を組み合わせて効果的に表現している。</p> <p>【鑑】：作品を見て感じ取ったことを自分の価値意識をもって味わっている。</p> <p>【関】：意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【発】：表現効果を考えながら独自の発想を深めている。</p> <p>【技】：表現に意図に合わせた材料や用具の生かし、工夫して表現している。</p> <p>【鑑】：作品を見て感じ取ったことを自分の価値意識をもって味わっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・作品 ・レポートの作成 ・定期考査 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・作品 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査
3 学 期	<p>◆鑑賞 ジャポニスム 国境を越える美術 (1～2時間扱い) ○ジャポニスムを題材に作品を鑑賞し、国境を越えた文化の交流によって、新しい表現が生み出されてきた過程について学ぶとともに、日本の伝統文化の特徴について再認識する。</p> <p>◆鑑賞 日本の芸術 (1～2時間扱い) ○日本の室町から江戸にかけての作品を鑑賞し、自国の文化について学ぶ。特に尾形光琳の金箔屏風について深く触れる。</p>	<p>【関】：ジャポニスムを例をもとに、美術を通した国際理解に目を向けようとしている。</p> <p>【鑑】：浮世絵と西洋の美術作品を比べ、違いや共通性について、理解を深めている。</p> <p>【関】：日本の美術や伝統と文化に対する理解を深めようとしている。</p> <p>【鑑】：作品を見て感じ取ったことについて、見方を深めていくこと意義について理解している。</p> <p>【関】：「紅白梅図」を例に、日本の伝統文化に目を向けようとしている。</p> <p>【鑑】：日本の芸術作品と西洋の美術作品を比べ、違いや共通性について、認識し日本の伝統芸術の理解を深めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・定期考査 ・レポートの作成 ・発言内容 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察

			察 ・レポートの作成 ・発言内容 ・定期考査
--	--	--	---------------------------------